

公表：2022年11月22日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス あんじゅ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%			常に整理整頓を行い利用しやすいスペースを確保している。身体を動かす場所と座って取り組む場所を分けるなど工夫しているスクリーンを設置している
	②	職員の配置数は適切であるか	100%			加配しているため充分であると考えられる。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%			視覚的支援を行っている。段差解消など最低限のバリアフリーになっている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%			業務改善会議の開催を年4回行い常勤・非常勤問わず参画している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%			このガイドラインを用いて実地している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			ホームページで公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			100%	まだ行った事がなく今後の課題点である。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%			毎月の社内研修や外部研修への参加機会を作っている。資格取得にたいして会社も優遇している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			児童発達支援ガイドラインにのったアセスメント表を作成して活用している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%			上記と同じ
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%			担当を決め立案を行う事で平等に行えていると思う。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%			週案や月案を作り工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	67%	33%		細やかとは言い切れないが長期休暇時の支援の記載はしている。宿題等には対応している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%			集団行動は必ず取り入れ課題は個別、遊びは集団など状況に応じて活動を行っている
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%			役割分担は事前に決め毎朝のミーティングで報告し共通認識を図っている。	

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	78%	22%		勤務時間の違いにより必ずしも全員で振り返りが出来ない時もあるが振り返りや出来事を話している。支援経過記録や職員間の連絡帳を活用している
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%			児発管による記録、日報やパソコンでの記録、通所記録用紙で努めている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%			3か月・6か月に1回モニタリングを開催し見直しを行っている
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	100%			基本的日常生活動作の習得の為に訓練の他、創作活動やダンスなど各種プログラムを作成している
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	34%	11%	55%	例がない
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	56%	22%	22%	現在、土曜日だけの放デイなので学校との連携は減ったが以前は取り組んでいた。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	67%	11%	22%	実績はない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	56%	33%	11%	在籍していた園などの情報はありますが通所児童に必要性はない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	34%	44%	22%	実績はないが心得ています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	56%	22%	22%	過去には実績があるが、ここ半年は行ったことがない。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	12%	66%	22%	機会はない
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	12%	33%	55%	コロナ禍ということもあり積極的には行っていないが参加するように努めている。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%			送迎時や連絡ノートを利用し共通理解に努めている。必要時には電話にて伺うこともある。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	12%	66%	22%	相談の引き受けはあるがペアレント・トレーニングは行ったことがない
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%			契約時に行っている
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%			送迎時の状況伝達になるが努めている。又、計画書の説明時も含む。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			100%	例がない

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	88%	11%		有事の際には務めているが、ここ1年間では苦情がない。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%			ブログやフェイスブックを毎日更新している。毎月「あんじゅ便り」を作り情報発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	100%			雇用契約に守秘義務に関する事項を設けてある。過去のヒヤリハットから対策も立てて努めている。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%			実物提示や視覚的ツール、文字によるコミュニケーションなど工夫している
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		11%	89%	コロナがあり積極的には行っていない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%			マニュアルを整備している。研修を行っている
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%			避難・防災訓練は年2回行っている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%			研修の他、毎月委員会を設け開催している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%			身体拘束の実績はない。計画書にも記載している。契約書にも記載、説明を行っている
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	89%	11%		食物アレルギーの児童は医師からの指示書は貰っていないが保護者からの要請を職員間で徹底している(診断書を添えていただいている)
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100%			ヒヤリハットを作成し申し送りを行い職員間で共有している